

テーマ

der Perfekte Tag

目標

〈学習レベル：2〉ブランデンブルク州（埼玉県の姉妹州）に置いてもらえるような、埼玉県に来るドイツ人に向けた観光ガイドを作成し、クラスで一冊にまとめる。また、その地域を宣伝するナレーション付のスライドショーを作ることができる。

コミュニケーション能力指標

- 食 1. f 料理の味や状態について説明ができる。
- 食 2. c 料理を勧めることができる。
- 食 2. f 料理の種類、好みについて、説明できる。
- 食 3. c 日本の代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理について口頭または書いて紹介できる。
- 食 3. d 日本と相手の食文化について、書いて紹介することができる。
- 食 3. e 日本と相手の国の食文化を考慮して紹介することができる。
- 交 1. b 観光名所やおすすめのお土産を紹介することができる。
- 交 2. b 目的地までの所要時間や費用について、口頭でまたは書いて紹介することができる。
- 交 2. c 目的地までの交通機関、ルートについて口頭でまたは書いて伝えることができる。
- 交 2. j 旅行の簡単な日程表を作って、相手に知らせることができる。
- 交 3. a 目的地までのアクセス方法を説明することができる。
- 交 3. b ツアー案内文の違いがわかる。

学習シナリオ

〈場面状況〉伊奈学園では、ドイツ人の長期留学生を受け入れることになり、その留学生に、埼玉県の観光スポットを案内することになった。そのために観光ガイドを作成しクラスで一冊にまとめることにした。完成したものは、公官庁（ブランデンブルク州や埼玉県など）においてもらえるようにすることにした。

〈活動の流れ〉

- ①ドイツ語と日本語の旅行に関するチラシを比較し、掲載されている情報、表現・提示方法の違いや必要な情報を共有する。
- ②住んでいる地域を基本にペアを作る。
- ③ドイツ人が楽しめる観光場所・テーマを決めて、一日の行程を考える。（最低3観光スポット・1食事・1土産）
- ④ベルリンの観光スポットについて学び、道案内の復習をする。
- ⑤④を元に観光ガイドに必要な、ドイツ語の表現を考える。
- ⑥A3の用紙に観光ガイドの下書きをし、提出をする。
- ⑦⑥についてALTに確認をしてもらい、観光ガイドを作成し、提出をする。
- ⑧観光ガイドを作成した地域の紹介文を作る。
- ⑨ALTに文を確認してもらい、発音、表現等を確認し、練習する。
- ⑩紹介文を録音し、それに合わせたスライドショーを作成する。
- ⑫スライドショーを上映し、クラス投票によりベスト3を決める。その際、コメントももらう。

⑬その後、公官庁に届けられるような、観光ガイドとスライドショーを提出する。

総括的評価

学んだ語彙、表現を用いて観光ガイドを作成し、それを紹介するスライドショーを作る。

ワークシート3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動で必要となる語彙、表現を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツアー案内文の違いがわかる。</li> <li>ドイツ語と日本語の旅行に関するチラシを比較する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理について口頭または書いて紹介できる。</li> </ul>
できる	<p>(以下より適宜選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>料理の味や状態について説明ができる。</li> <li>自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、料理名や食品名を口頭で伝えられる。</li> <li>自分の行きたい場所を、口頭でまたは書いて伝えることができる。</li> <li>目的地までの所要時間や費用について、口頭でまたは書いて紹介することができる。</li> <li>料理の種類、好みについて、説明できる。</li> <li>観光名所やおすすめのお土産を紹介することができる。</li> <li>目的地までのアクセス方法を説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ語と日本語の観光ガイドの比較分析を生かして、ドイツ人向けの観光ガイドに含めるべき情報などを選定することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループのメンバーと協働作業をすることができる。</li> <li>観光ガイドを作成し、クラス発表の準備をする。</li> <li>スライドショーの作成/編集をすることができる。</li> <li>スライドと観光ガイドの効果的な組み合わせを考えることができる。</li> </ul>
つながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>おすすめ料理、場所、お土産を勧めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較分析を生かして、ドイツ人向けの観光ガイドを作成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス全体および先生でフィードバックを生かして、都庁に置いてもらえるような観光ガイドとスライドショーを作ることができる。</li> </ul>
三連携	連携1： 個人の作業/グループワーク 連携2： 「情報」/PCを使った作業 連携3： 地域社会		

テーマ：der Perfekte Tag

指示文：

ブランデンブルク州（埼玉県の姉妹州）に置いてもらえるような、埼玉県に来るドイツ人に向けた観光ガイドを作成し、クラスで一冊にまとめる。また、その都市を宣伝するスライドショーを作ることができる。手順、提出物および注意点は次の通りです。

#### 活動の手順

- ① ドイツ語と日本語の旅行に関するチラシを比較する。
- ② ドイツ語の国で日本を観光したい人向けに配信されているサイトや旅行案内等の表現・提示方法の違いを各自で検討する。
- ③ 検討した内容をクラスメートと共有する。
- ④ 住んでいる地域ごとに2人組を作る。
- ⑤ グループで何を紹介するかというテーマを決める。
- ⑥ 食事、観光スポットとお土産について本やインターネットおよび自分の経験から候補を挙げる。
- ⑦ 1日のスケジュールを考える。
- ⑧ 道案内の復習をベルリンの町を例に行う。
- ⑨ 観光ガイドに必要なドイツ文を考える。
- ⑩ 観光ガイドの下書きを書く。（だいたいの構図や絵も考える）
- ⑪ 観光ガイドを提出し、ALTにチェックをしてもらう。
- ⑫ 観光ガイドを完成させる。
- ⑬ その都市を60秒で紹介する文を作る。
- ⑭ ALTに文章の確認をしてもらう。
- ⑮ 文書を清書し、発音やアクセントに注意しながら読み練習をする。
- ⑯ 音声の録音をする。
- ⑰ PPTでスライドショーを作成し、録音した音声に合わせる。
- ⑱ クラスで発表をする。
- ⑲ スライドショーをクラスで投票し、ベスト3を決める。その際、選定理由のコメントももらう。
- ⑳ ドイツ人留学生に届けられるような状態にして、観光ガイドとスライドショーを提出する。

## 提出物

- ① 観光ガイド ② 紹介文（録音するための文） ③ PPT データ

## 総括的評価のポイント

### ① 観光ガイド

観光ガイドとしての役割を果たしているか。条件を守っているか。  
ドイツ語でわかりやすく説明がされているか。

### ② 紹介文

案内する地域を紹介する文となっているか。聞き手にわかりやすいように抑揚やアクセントがつけられているか。

### ③ PPT データ

紹介文を生かした、スライドになっているか。

## テーマ：der Perfekte Tag

ある地域の観光ガイドを作成する。

	素晴らしい（4点）	できた（3点）	もう一息（2点）	それはちょっと…（1点）
構成	必要な情報が非常にわかりやすく、必要な情報を探しやすい。	3つの情報がわかりやすく構成されている。	3つの情報はあがるが、探すのに時間がかかる。	必要な情報がどこにあるかわからない。
内容	楽しく充実した散策になりそう。日本に慣れていない人への配慮も随所に感じられる。	楽しい散策になりそう。日本に慣れていない人へ配慮している箇所がある。	楽しい散策になりそうだが、情報が不十分で少し不安を感じる。	散策が1日で無事に終わるかわからない。
理解しやすさ	文法・語彙に間違いはなく、伝えたいことが完全に理解できる。	文法・語彙に多少間違いはあるが、伝えたいことが理解できる。	文法・語彙にかなり間違いがあり、伝えたいことが理解できない場合がある。	文法・語彙に間違いが多いあまり、伝えたいことがわからない。
見た目	デザインがよく練られており、見ているととても楽しく、友達にも見せて、今すぐにでも行きたくなる。	デザインにも配慮があり、見ていると楽しく、散策に持って行きたくなる。	デザインに配慮しようとする努力が見られない。	デザインに対しての配慮が見られず、工夫が見られない。

## テーマ：der Perfekte Tag

観光ガイド作成後、その地域の紹介する60秒のスライドショーを作る。

	素晴らしい（4点）	できた（3点）	もう一息（2点）	それはちょっと…（1点）
流暢さ、 発音	意味が完全にわかる。	ほぼ意味はわかる。	発音の問題のために意味がわかりにくいところがある。	発音の問題が多く、意味がよくわからないところが多い。
声	はっきりとした大きな声で話し、よく聞き取れる。	声もはっきりしていて、問題なく聞き取ることができる。	声が小さくなるところがあり、聞き取りにくいところがある。	声が小さくなったり、ぶつぶつ口の中でつぶやくようになったりするところが多い。
簡潔さ	55秒以上1分まで	50秒以上54秒 1分1秒以上1分5秒	40秒以上49秒 1分6秒以上1分10秒	30秒以上39秒 1分11秒以上
スライド	伝えたい内容がはっきりわかり、画像が効果的に用いられている。	伝えたい内容がほぼわかる。	内容がよくわからない。	紹介文の内容と写真が合っておらず、わからない。
見終わった後	友だちを誘って今すぐにでも行ってみたいと思う。	行きたいと思う。	時間に余裕があれば行ってみたいかなと思う。	他の観光ガイドを参考にしようと思う。

個々のタスク	小目標	中目標	大目標	テーマ
自分が旅行するなら、何を基準に旅行を計画するか考える。	観光ガイドの構成・情報の違いがわかる。	ドイツ語と日本語の観光案内を比較し、表現・提示方法の違いを分析できるようにする。	ブランドテンブルク州（埼玉県）の姉妹州（ドイツ）に置いてもらえるような、埼玉県に来るドイツ人に向けた観光ガイドを作成し、クラスで一冊にまとめる。また、その地域を宣伝するスライドショーを作ることができ	伊奈学園では、ドイツ人の長期留学生を受け入れることになり、その留学生に、埼玉県の観光スポットを案内することになった。そのため観光ガイドを作成し、クラスで一冊にまとめることにした。完成したものは、公官庁（ブランドテンブルク州や埼玉県など）においてもらえるようにすることにした。
ドイツ語を日本語の観光ガイドと比較し、違いを見つける。	主要な語彙・表現がわかる。			
ドイツ語版観光ガイドの必要情報を抜き出す。	自分の住んでいる地域の1日観光案内をドイツ人に向けて考えることができる。			
必要情報を理解する。	観光ガイドに必要な情報をドイツ語で表現できる。	ドイツ人向けの観光ガイドを作成できるようにする。		
住んでいる場所を元にペアを決め、観光ガイドのテーマを決める。				
おすすめの食事・観光スポットとお土産を考える。				
観光ルートを考える。	観光ガイドに必要な情報をドイツ語で表現できる。			
ベルリンを例に、観光地の説明の大意を理解する。				
既習の学習項目では足りない語彙・表現を学ぶ。				
道案内に必要な語彙・表現を復習する。	観光ガイドの下書きをする。			
上の表現等を使いながら観光ガイドの下書きをする。				
【形成的評価】観光ガイドの下書きを提出する。→誤りを訂正する。フィードバックする。				
フィードバックを元に、観光ガイドを再構成する。	観光ガイドの作成ができる。	ドイツ人向けの観光ガイドを作成できるようにする。		
絵やイラストを用いて、観光ガイドをA3一枚にまとめる。				
【形成的評価】観光ガイドを提出する。（総括的評価のための活動のルーブリックを用いる）				
観光ガイドを作成した地域の紹介文を考える。	担当する地域の紹介をドイツ語で表現することができる。	住んでいる地域を紹介するスライドショーを作れるようになる。		
既習の学習項目では足りない語彙・表現を学ぶ。				
担当地域の紹介文を作る。				
【形成的評価】都市の紹介文を提出する。→誤りを訂正する。フィードバックする。	ドイツ語で担当する地域の紹介文を言うことができる。			
フィードバックされた紹介文を確認し、清書する。				
紹介文の発音練習をする。				
紹介文の音声のみを録音する。	スライドショーを完成させることができる。			
紹介文に合うように、スライドをPPTで作成する。				
スライドのタイミングをナレーションに合わせる。				
紹介ビデオを先生、生徒で見て投票する。	スライドショーを完成させることができる。			
【総括的評価のための活動】学んだ語彙、表現を用いて観光ガイドを作成し、その地域を紹介するスライドショーを作る。				